

平成27年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価の結果に関する報告書

(平成26年度対象)

平成27年11月
かすみがうら市教育委員会

目 次

第1章 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 趣 旨	1
2 点検評価の対象	1
3 対象期間	1
4 点検評価の方法	1
5 平成26年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検	2

第2章 教育委員会の活動

1 教育委員会	5
2 教育委員会の開催状況	5
3 教育委員会定例会・臨時会状況	6

第3章 点検及び評価結果

1 教育の充実	10
2 生涯学習の充実	33
3 青少年の健全育成	51
4 地域文化の継承と創造	55
5 地域福祉の推進	63

第4章 学識経験者の意見

64

第1章 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象

点検評価をする事務事業は、教育委員会が所管している事業（事務委任等も含む）のうち、かすみがうら市総合計画の後期基本計画に掲げられた、市教育委員会が所管する施策を対象に点検及び評価の対象としました。

3 対象期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日

4 点検評価の方法

点検評価の方法については、かすみがうら市総合計画の後期基本計画を基に、自己点検評価書類を纏め、自己点検評価を行いました。

その後、かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員（教育に関し学識経験を有する方として教育委員会が委嘱）から、自己点検評価の結果について、ご意見・ご助言をいただきました。

○かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員（五十音順、敬称略）

柴田 一浩（流通経済大学教授）

瀧ヶ崎 孝子（元市社会教育委員）

松澤 茂（元小学校校長）

○事務の点検評価の日程

平成27年 9月30日（水） 教育委員会事務点検・評価会議（第1回目）

平成27年10月14日（水） 教育委員会事務点検・評価会議（第2回目）

平成27年10月30日（金） 教育委員会事務点検・評価会議（第3回目）

5 平成26年度に教育委員会が実施した主な事務事業の点検

No.	総合計画 施策の方向	関係事業名	担当課・担当係
1	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設維持管理事業 ・中学校施設維持管理事業 ・教職員住宅維持管理事業 ・小学校施設耐震促進事業 ・中学校施設耐震促進事業 ・下稲吉小学校施設整備事業 ・美並小学校施設統合環境整備事業 ・北中学校施設統合環境整備事業 ・南中学校施設統合環境整備事業 	学校教育課 教育施設係
2	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校コンピューター設置事業 ・中学校コンピューター設置事業 	学校教育課 学校教育係
3	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校図書室運営事業 ・中学校図書室運営事業 	学校教育課 学校教育係
4	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校保健事業 ・小学校児童安全推進事業 ・中学校保健事業 ・中学校生徒安全推進事業 	学校教育課 学校教育係
5	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学区審議会設置事業 ・学校統合推進事業 	学校教育課 学校教育係
6	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校管理運営事業 ・小学校教材備品整備事業 ・中学校管理運営事業 ・中学校教材備品整備事業 	学校教育課 学校教育係
7	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 ・教育委員会事務局運営事業 	学校教育課 総務係
8	教育内容の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教育指導事業 ・指導主事設置事業 ・英語指導助手設置事業 ・教育推進団体設置事業 ・中学校部活動支援事業 ・教育活動指導員設置事業 ・小学校教育振興事業 ・中学校教育振興事業 	学校教育課 学校教育係 教育指導室

No.	総合計画 施策の方向	関係事業名	担当課係・担当係
9	教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会設置事業 ・学校介助員設置事業 ・教育相談事業 ・小学校就学支援事業 ・中学校就学支援事業 	学校教育課 学校教育係 教育指導室
10	特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくり推進事業 ・小学校給食管理運営事業 ・中学校給食管理運営事業 	学校教育課 学校教育係
11	生涯学習推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業（共通） ・公民館運営審議会運営事業 ・図書館運営事業（共通） ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 社会教育係 霞ヶ浦・千代田公民館 図書館 郷土資料館
12	生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業（共通） ・女性団体行政事業 ・放課後子ども教室推進事業 ・学校家庭地域の連携協力推進事業 ・生涯学習市民協働事業 ・霞ヶ浦公民館運営事業 ・千代田公民館運営事業 ・文化芸術振興事業 ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 社会教育係 霞ヶ浦・千代田公民館 文化振興係 郷土資料館
13	生涯学習施設の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦地区公民館管理事業 ・千代田公民館管理事業 ・図書館運営事業（共通） ・蔵書整備事業 ・ブックスタート事業 ・あじさい館管理事業（共通） ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 霞ヶ浦・千代田公民館 図書館 あじさい館管理係 郷土資料館
14	生涯学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業（共通） ・生涯学習情報提供事業 	生涯学習課 社会教育係
15	地区公民館活動と地域活性化運動	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動推進事業 ・集落センター連絡協議会運営事業 ・新生活運動推進協議会運営事業 ・新しい公民館の形づくり事業 	生涯学習課 霞ヶ浦公民館

No	総合計画 施策の方向	関係事業名	担当課・担当係
16	スポーツ・レクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・かすみがうらマラソン大会開催事業 ・市民ふれあいスポーツ推進事業 	生涯学習課 スポーツ振興係
17	スポーツ・レクリエーション施設の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ふれあいスポーツ推進事業 ・体育センター管理運営事業 ・わかぐり運動公園管理運営事業 ・多目的運動広場管理運営事業 ・戸沢公園運動広場管理運営事業 ・第1常陸野公園管理運営事業 	生涯学習課 スポーツ振興係
18	スポーツ・レクリエーション団体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体育成事業 	生涯学習課 スポーツ振興係
19	青少年健全育成活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成事業（共通） 	生涯学習課 社会教育係
20	青少年の健全育成と体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年育成事業（共通） 	生涯学習課 社会教育係
21	文化財などの継承と保護、活用	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見塚古墳公園管理運営事業（共通） ・文化財保護事業 ・埋蔵文化財事業 ・文化芸術振興事業（共通） ・帆引き船市文化財指定調査事業 ・帆引き船保存活用対策事業 ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 文化振興係 郷土資料館
22	ふるさと教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 郷土資料館
23	芸術・文化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興事業（共通） 	生涯学習課 文化振興係
24	観光との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・富士見塚古墳公園管理運営事業（共通） ・郷土資料館管理運営事業（共通） 	生涯学習課 文化振興係 郷土資料館
25	地域福祉施設の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・あじさい館管理事業（共通） 	生涯学習課 あじさい館管理係

第2章 教育委員会の活動

1 教育委員会

かすみがうら市の教育委員会は、5人の教育委員をもって組織し、委員は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し見識を有するものの中から、市長が議会の同意を得て、任命するものであり、委員の選任に当たっては、地教行法の規定を踏まえ、保護者も委員としています。

教育委員会を代表する教育委員長は、教育長を除く教育委員の中から、1名を互選により選び、教育長は、委員長を除く教育委員の中から教育委員会によって任命され、教育委員会の権限に属するすべての事務の具体的な執行に当たっています。

なお、平成27年4月1日に地教行法の一部を改正する法律が施行され、教育委員会制度改革により、前述の内容が一部変更され、本市においては、平成27年6月25日より大山隆雄教育長が就任され、新教育長制度に移行しております。

(教育委員会構成 平成27年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
委員長	石塚 貴夫	平成22年10月1日就任 平成26年9月30日満期	1期
	田澤 高保	平成26年10月1日就任 平成30年9月30日満期	1期
委員 (委員長職務代理者)	中島 和彦	平成25年6月25日就任 平成29年6月24日満期	3期
委員	飯村 恵子	平成25年6月25日就任 平成29年6月24日満期	2期
委員	宮本 雪代	平成24年6月25日就任 平成28年6月24日満期	1期
委員(教育長)	菅澤 庄治	平成23年6月25日就任 平成26年7月22日退任	2期
	大山 隆雄	平成26年10月1日就任 平成27年6月24日満期	1期

2 教育委員会の開催状況

合議制の執行機関である教育委員会の会議においては、かすみがうら市教育委員会の教育長に対する事務委任規則第2条各号に掲げる事務や、特に協議を有する事項に

ついて、審議し、決定するものであり、その他は教育長に委任し処理させています。

教育委員会の会議には、定例会と臨時会があり、定例会は毎月開催し、臨時会は必要に応じて招集しています。

*平成26年度開催状況

定例会	12回（毎月1回）
臨時会	4回

3 教育委員会定例会・臨時会状況

(1) 平成26年度教育委員会 審議内容

議案番号	件名	開催
議案第22号	かすみがうら市教科指導委員の委嘱について	4月定例
議案第23号	かすみがうら市障害児就学指導委員会規則の一部を改正する規則について	6月定例
議案第24号	かすみがうら市教育支援委員会の委員の委嘱について	6月定例
議案第25号	かすみがうら市学校介助員設置要項の一部を改正する訓令について	6月定例
議案第26号	下大津・美並・牛渡・宍倉統合小学校統合委員会委員並びに佐賀・安飾・志士庫統合小学校統合委員会委員の委嘱について	6月定例
議案第27号	平成26年度異動内示について	6月定例
議案第28号	かすみがうら市教育委員会委員の辞職について	7月臨時
議案第29号	かすみがうら市学区審議会委員の委嘱について	7月定例
議案第30号	かすみがうら市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価に関する要綱について	7月定例
議案第31号	かすみがうら市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部改正について	7月定例
議案第32号	平成27年度使用教科用図書の採択について	7月定例
議案第33号	かすみがうら市教育委員会職員人事異動について	7月定例
議案第34号	かすみがうら市教育委員会事務点検評価委員の委嘱について	8月定例
議案第35号	かすみがうら市教育委員会教育長の任命について	10月臨時
議案第36号	平成26年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の結果に関する報告書について	12月定例
議案第37号	平成27年度教育予算編成に関する要望書について	12月定例
議案第1号	かすみがうら市立学校管理規則の一部改正について	1月定例
議案第2号	かすみがうら市教育委員会事務決裁規程の一部改正について	1月定例
議案第3号	「かすみがうら市指定有形（民俗）文化財申請に係る市の指	1月定例

議案番号	件名	開催
	定について」のかすみがうら市文化財保護審議会への諮問について	
議案第 4号	「かすみがうら市指定有形（民俗）文化財申請に係る市の指定について」のかすみがうら市文化財保護審議会への諮問について	1月定例
議案第 5号	「かすみがうら市指定史跡、名勝、天然記念物申請に係る市の指定について」のかすみがうら市文化財保護審議会への諮問について	1月定例
議案第 6号	「かすみがうら市指定無形民俗文化財申請に係る市の指定について」のかすみがうら市文化財保護審議会への諮問について	1月定例
議案第 7号	かすみがうら市学区審議会委員の委嘱について	2月定例
議案第 8号	かすみがうら市新治小学校・七会小学校・下稲吉小学校学校医師の委嘱について	2月定例
議案第 9号	かすみがうら市福祉館運営協議会委員の委嘱について	2月定例
議案第10号	かすみがうら市指定有形文化財の指定について	2月定例
議案第11号	かすみがうら市指定有形文化財の指定について	2月定例
議案第12号	かすみがうら市指定史跡の指定について	2月定例
議案第13号	かすみがうら市指定無形民俗文化財の指定について	2月定例
議案第14号	平成26年度末、平成27年度初めの教職員異動内示について	3月臨時
議案第15号	かすみがうら市いじめ防止基本方針の策定について	3月定例
議案第16号	かすみがうら市社会教育指導員の委嘱について	3月定例
議案第17号	かすみがうら市地区公民館用務手の委嘱について	3月定例
議案第18号	かすみがうら市文化財保護審議会委員の委嘱について	3月定例
議案第19号	平成27年度かすみがうら市学校教育指導方針の策定について	3月定例
議案第20号	かすみがうら市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第21号	かすみがうら市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第22号	かすみがうら市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第23号	かすみがうら市教育委員会事務局処務規程の一部を改正する訓令について	3月定例
議案第24号	かすみがうら市教育委員会の教育長に対する事務委任規則の	3月定例

議案番号	件名	開催
	一部を改正する規則について	
議案第25号	学校その他の教育機関の長に対する事務委任規程の一部を改正する訓令について	3月定例
議案第26号	かすみがうら市教育委員会の権限に属する事務の点検及び評価に関する要綱の一部を改正する告示について	3月定例
議案第27号	かすみがうら市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第28号	かすみがうら市ティームティーチング非常勤講師取扱規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第29号	かすみがうら市地区公民館運営規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第30号	かすみがうら市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第31号	かすみがうら市千代田B&G海洋センター管理規則の一部を改正する規則について	3月定例
議案第32号	かすみがうら市教育委員会職員人事異動について	3月定例
議案第33号	かすみがうら市学校運営協力員の委嘱について	3月定例
議案第34号	かすみがうら市スポーツ推進委員の委嘱について	3月定例
議案第35号	かすみがうら市図書館協議会委員の委嘱について	3月定例
議案第36号	かすみがうら市青少年相談員の委嘱について	3月定例
議案第37号	かすみがうら市教育長の職務に専念する義務の特例に関する規則について	3月定例
議案第38号	かすみがうら市教育委員会教育長の期末手当に関する規則を廃止する規則について	3月定例

(2) 平成26年度教育委員会 報告案件

議案番号	件名	開催
報告第6号	かすみがうら市図書館協議会委員の委嘱について	4月定例
報告第7号	かすみがうら市青少年相談員の委嘱について	4月定例
報告第8号	かすみがうら市社会教育委員の解職及び委嘱について	5月定例
報告第9号	かすみがうら市地区公民館役職員の解職及び委嘱について	5月定例
報告第10号	かすみがうら市公民館運営審議会委員の解職及び委嘱について	5月定例
報告第11号	教育委員会所管の平成26年度第1号補正予算について	5月定例

議案番号	件名	開催
報告第12号	平成26年度全国学力・学習状況調査について	9月定例
報告第13号	教育委員会所管の平成26年度第2号補正予算について	9月定例
報告第14号	教育委員会所管の平成26年度第3号補正予算について	9月定例
報告第15号	教育委員会所管の平成26年度第4号補正予算について	12月定例
報告第1号	教育委員会所管の平成26年度第7号補正予算について	3月定例
報告第2号	教育委員会所管の平成27年度当初予算について	3月定例

(3) 平成26年度教育委員会 選挙案件

議案番号	件名	開催
選挙第1号	かすみがうら市教育委員会委員長の選挙について	6月定例
選挙第2号	かすみがうら市教育委員会委員長職務代理者の指定について	6月定例
選挙第3号	かすみがうら市教育委員会委員長の選挙について	10月臨時
選挙第4号	かすみがうら市教育委員会委員長職務代理者の指定について	10月臨時

(4) 平成26年度教育委員会 協議案件

議案番号	件名	開催
協議第3号	霞ヶ浦地区の小学校の統合にかかる要望書について	5月臨時
協議第1号	市の事務の一部を教育委員会で補助執行することについて	2月定例

第3章 点検及び評価結果

1 教育の充実

様式1 (自己点検評価書類)

No. 1	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 教育施設係	
施策の内容	①学校の適正規模と適正配置の計画と整合性を図りながら、耐震性能が劣る施設の耐震化を進めます。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・小学校施設維持管理事業	91,664千円	100,954千円	
	・中学校施設維持管理事業	33,702千円	37,985千円	
	・教職員住宅維持管理事業	0千円	1千円	
	・小学校施設耐震促進事業 (事務事業評価シート/P.51)	5,260千円	66,379千円	
	・中学校施設耐震促進事業 (事務事業評価シート/P.43)	3,240千円	58,244千円	
	・下稲吉小学校施設整備事業 (事務事業評価シート/P.27)	16,272千円	287,945千円	
	・美並小学校施設統合環境整備事業 (事務事業評価シート/P.47)	113,374千円	305,137千円	
	・北中学校施設統合環境整備事業 (事務事業評価シート/P.49)	1,296千円	680,748千円	
	・南中学校施設統合環境整備事業 (事務事業評価シート/P.45)	84,564千円	274,982千円	
【平成26年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校施設維持管理事業、中学校施設維持管理事業 小中学校施設における経常的な維持管理業務を行った。(光熱水費、保守点検業務、手数料、修繕費等) ・教職員住宅維持管理事業 教職員住宅は施設の老朽化が進んでいることから、平成24年度から原則入居者を受入れない方針としており、電気・ガス・水道は休止している。 ・小学校施設耐震促進事業 耐震性の低い新治小学校校舎及び上佐谷小学校校舎における耐震補強工事の実施設 				

計業務を実施した。(平成 27 年度工事)

- ・ 中学校施設耐震促進事業

下稲吉中学校屋内運動場における非構造部材(アリーナ天井材等)の撤去及びトイレ改造工事の実施設計業務を実施した。(平成 27 年度工事)

- ・ 下稲吉小学校施設整備事業

老朽化の激しい中央校舎棟と耐震性の低い東校舎棟を改築するため実施設計業務を実施した。(平成 27・28 年度工事)

- ・ 美並小学校施設統合環境整備事業

耐震性の低い校舎の耐震補強及び大規模改造工事(平成 26・27 年度継続事業)と、統合に当たり必要教室数を確保するための増築工事(平成 27 年度へ繰越)並びにプール改築工事(平成 27 年度へ繰越)を実施した。

- ・ 北中学校施設統合環境整備事業

統合小学校に向けた大規模改造工事における設計書の単価入替業務及び内容調整を実施した。(平成 27 年度工事)

- ・ 南中学校施設統合環境整備事業

統合後の環境整備として屋内運動場の大規模改造工事(平成 27 年度へ繰越)を実施した。

【課題・今後の対応】

- ・ 小学校施設維持管理事業、中学校施設維持管理事業

小中学校施設の老朽化が進み突発的な修繕も多いため計画的な大規模改修が必要となる。また、経常経費(光熱水費等)については学校側の協力を得ながら経費削減に努める。

- ・ 教職員住宅維持管理事業

教職員住宅については施設の廃止(解体)を前提とし、今後は有効な跡地利用を検討していく。

- ・ 小学校施設耐震促進事業

耐震化については平成 28 年度で完了するため、今後は防災機能強化や質的整備(トイレ、空調等)、大規模改修を計画的に進めていく必要がある。

- ・ 施設整備事業・施設統合環境整備事業

施設整備については莫大な費用が掛かるため、有効な補助制度や起債を活用し、市の財政状況を検討しながら整備を進める必要がある。また、施設の工事を行う際は、学校生活に支障が生じないように学校側と連携し児童・生徒の安全管理を十分に行うと伴に、学校の長期休暇期間を利用しながら工事を進めていく。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

平成 28 年度耐震化率 100%（統合後の閉校した学校は含まない）

【点検・評価委員の意見】

- ・ 小学校の統廃合に向けた環境整備が着実に進んでいる。民間等のプールを活用して授業を行う市町村が多くなる中、霞ヶ浦とともに生きる本市の児童生徒にとって、プールの改修を行い自校で学習できるようにしたことは大いに評価できる。
- ・ 教職員住宅の跡地利用については、引き続き有効に活用できるよう検討してほしい。
- ・ 施設設備の老朽化に伴う工事等について、児童生徒は安心して安全に生活できるよう安全点検の充実を図るとともに、その結果を踏まえ、計画的に改修工事を進めていく必要がある。
- ・ 千代田地区の小学校においては、統合の方向性を見ながら、安全で安心な施設整備と耐震事業を進めてほしい。
- ・ 平成 28 年度に耐震化率 100 パーセントを達成できることは、児童生徒が安全に生活するうえで歓迎すべきことである。経年劣化に伴う修理が必要となる箇所や潜在的な危険箇所にも常に目を配り、計画的な修理修繕に努めてほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 2	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 学校教育係	
施策の内容	①情報教育機器の計画的更新を行います。また、教職員に対して研修機会を設けて情報技術活用技能の向上を図ります。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・小学校コンピューター設置事業 (事務事業評価シート/P.23) ・中学校コンピューター設置事業 (事務事業評価シート/P.39)	18,559千円 7,358千円	19,067千円 7,554千円	
【平成26年度取組内容】				
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校コンピューター設置事業、中学校コンピューター設置事業 <p>各小中学校のパソコン教室に設置している児童生徒用並びに教職員用のパソコンについて、適正な維持管理を実施した。また、各校に対するタブレット型端末 (iPad) の操作研修を実施した。</p>				
【課題・今後の対応】				
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校コンピューター設置事業、中学校コンピューター設置事業 <p>ICT教育を推進するにあたり、パソコン教室だけの活用ではなく、学校全体でのICT活用を目指した環境の整備と児童生徒の習得意欲に繋がる学習方法の検討を進める必要がある。また、リース期間満了にあわせてパソコンのタブレット化を推進する。</p>				
【実施事業の内部評価】				
<input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた <input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた <input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた <input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった				
【その他】				
霞ヶ浦地区の小中学校においては、パソコンのタブレット化が済んでいる				
【点検・評価委員の意見】				
<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用は思考力・判断力・表現力等を育成するうえで有効な手立ての一つである。機器の開発が日進月歩の今日、リース期間の6年が妥当か検討する必要がある。 ・様々な教育ソフトが販売されているが、教職員の意見を聞きながら効果的・効率的に学習できるソフトを順次整備していく必要がある。 				

- 小中学校におけるコンピューターの整備充実及び授業における有効活用は、児童生徒の学習意欲の向上に効果的である。
- 情報教育機器の整備は相当充実しているが、それらの機器をどのように活用するかが重要である。教職員に対する情報技術活用技能の向上を図る研修に努めてほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 3	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 学校教育係	
施策の内容	①学校図書館蔵書の整備と司書の配置により、読書意欲向上に繋がる学校図書館の環境の整備に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・小学校図書室運営事業 (事務事業評価シート/P.19) ・中学校図書室運営事業 (事務事業評価シート/P.35)	5,924千円 4,280千円	3,065千円 4,010千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校図書室運営事業 学校図書室の蔵書の充実を図るため、図書の購入を行った。また、図書の振興及び児童の読書意欲の向上に資する目的で、美並小学校を拠点校とし配置した図書館司書1名と中学校に配置した司書3名を各小学校へ派遣した。 図書館司書を中心に市立図書館の蔵書の活用を実施した。 ・中学校図書室運営事業 学校図書室の蔵書の充実を図り、図書の振興及び生徒の読書意欲の向上に資する目的で、図書の購入と学校図書館司書の配置(1名/校)を実施した。また、統合初年度に当たる霞ヶ浦中学校においては、旧南中学校と旧北中学校の蔵書の整理を実施し、より充実した図書環境の整備が図れた。 図書館司書を中心に市立図書館の蔵書の活用を実施した。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校図書室運営事業、中学校図書室運営事業 学校図書室において、児童生徒や時代のニーズに合わせた蔵書の充実と、図書館司書を活用した児童生徒の読書意欲の向上が図れるような施策の検討が必要である。また、市立図書館との連携を充実させ、更なる図書の有効活用を図る検討が肝要である。平成27年度においては、大規模小学校及び全中学校において蔵書管理の電算化を実施し、児童生徒のより利便性のある利用環境の整備を図る。 				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				

【点検・評価委員の意見】

- 小中学校の蔵書管理の電算化を進め、書籍の共有化を進めていることは大いに評価できる。
- 図書館司書の各学校への配置に向けて、司書の活用により、どのような学習効果があるのかを具体的に調査しておく必要がある。
- 霞ヶ浦中学校において、旧南中学校と旧北中学校の蔵書の整理作業は大変だったと思う。適正な廃棄処分により充実した図書環境を図ってほしい。
- 各学校で読書活動が活発に行われている現状を踏まえ、児童生徒の読書意欲に応えられるよう図書室蔵書の質量ともに充実を図ってほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 4	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課	学校教育係
施策の内容	①児童生徒の健康管理の指導や安全確保に努めます。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・小学校保健事業	7,881千円	8,428千円	
	・小学校児童安全推進事業 (事務事業評価シート/P.17)	2,618千円	2,627千円	
	・中学校保健事業	3,057千円	3,189千円	
	・中学校生徒安全推進事業 (事務事業評価シート/P.33)	1,454千円	1,477千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校保健事業 児童の健康の維持及び確保を目的に、各校に学校医（内科医・眼科医・歯科医・薬剤師）を配置し、就学児の健康診断並びに在学児の健康診断と健康管理を実施した。 ・小学校児童安全推進事業 学校生活における活動や登下校時の事故及び怪我などの対応や安全の確保を目的に、日本スポーツ振興センター災害共済への加入促進、自動体外式除細動器（AED）の校内への設置等を実施した。また、自動体外式除細動器（AED）については、現場の教職員や児童等に対し、取り扱いの研修を実施した。 『かすみがうら市子どもを守る母の会』への補助事業を実施し、地域ぐるみの非行防止活動に努めた。 『かすみがうら市通学路交通安全プログラム』を策定し、児童が安全に通学できるよう、関係機関の連携強化を図った。 ・中学校保健事業 生徒の健康の維持及び確保を目的に、各校に学校医（内科医・眼科医・歯科医・薬剤師）を配置し、在学生の健康診断と健康管理を実施した。 ・中学校生徒安全推進事業 学校生活における活動や登下校時の事故及び怪我などの対応や安全の確保を目的に、日本スポーツ振興センター災害共済への加入促進、自動体外式除細動器（AED）の校内への設置、自転車通学生徒用ヘルメットの購入助成等を実施した。また、自動体外式除細動器（AED）については、現場の教職員や生徒等に対し、取り扱いの研修を実施した。 『かすみがうら市通学路交通安全プログラム』を策定し、生徒が安全に通学できるよ 				

<p>う、関係機関の連携強化を図った。</p>
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校保健事業、中学校保健事業 感染症の疾病は学校内で発生すると集団的となる傾向にあることから、日頃より児童生徒への感染予防や拡大防止などの保健衛生関連の体制づくりの見直しが必要である。また、予防に係る啓発や体力向上への取り組みも重要である。 ・ 小学校児童安全推進事業、中学校生徒安全推進事業 児童生徒の安全確保においては、広義には災害や犯罪に対する防災や防犯対策も含まれ、様々な角度からの安全確保を検証することが肝要であり、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう安全策の継続と対応の強化、さらには策定済みの『危機管理マニュアル』の精査が必要である。
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>
<p>【その他】</p>
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国的に最近、児童生徒の登下校時の事故や犯罪にまきこまれるケースが多く、「かすみがうら市通学路交通安全プログラム」を策定したことは大いに評価できるが、地域との連携強化と不断の見直しが必要である。 ・ 「かすみがうら市子どもを守る母の会」と中学校との非行防止活動は、関係団体との取り組みとして今後も継続してほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 5	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課	学校教育係
施策の内容	①児童生徒数の減少に伴い、教育環境を改善するため学校の統廃合を推進します。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・学区審議会設置事業 ・学校統合推進事業 (事務事業評価シート/P.13)	8千円 2,856千円	240千円 21,370千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区審議会設置事業 学区審議会への諮問と答申を踏まえて平成25年3月に策定した『かすみがうら市小中学校適正規模化実施計画』に基づき、統合校を単位とする統合委員会を継続して設置し、統合に向けての協議を実施した。 ・学校統合推進事業 統合初年度の霞ヶ浦中学校においては、TT非常勤講師を配置し、学習指導の充実に努めた。また、今後の統合対象校においては、事前交流事業を実施し、統合予定校における児童間の交流の場を設けられた。 霞ヶ浦地区の小中学校に係る統合委員会を開催し、統合2校の平成28年4月開校に向けた意見の集約を図った。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区審議会設置事業、学校統合推進事業 学校の統合については、必要に応じて学区審議会への経過報告等を実施しながら進める必要がある。また、霞ヶ浦地区の統合小学校2校においては、平成28年4月の開校を目前に控えていることから、スムーズな統合作業の遂行が必要である。 千代田地区の小中学校統合については、引き続き適正規模化の推進に係り、保護者や地域住民の意見集約に努めていく。 				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模な小学校から中学校へ進学するとき、仲の良かった小学校時の同級生が中学 				

校のクラスに誰もいなくなり不登校になるケースが多々あると報告されている。

- 円滑な統合に向けて、霞ヶ浦地区小学校の統合対象校における事前交流事業は重要である。楽しく円滑に学校生活スタートできるよう創意工夫をして確実に効果があがり、児童間の交流の場を設けられたことは喜ばしい。
- 千代田地区小学校統合については、適正規模化の観点から推進する必要がある。有識者の意見を参考にしながら、引き続き十分検討し、方向性を出してほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 6	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課	学校教育係
施策の内容	その他			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・小学校管理運営事業	34,880千円	36,501千円	
	・小学校教材備品整備事業 (事務事業評価シート/P.21)	9,423千円	2,600千円	
	・中学校管理運営事業 (事務事業評価シート/P.29)	59,495千円	59,507千円	
	・中学校教材備品整備事業 (事務事業評価シート/P.37)	4,830千円	1,800千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校管理運営事業 消耗品の購入及び修繕等に係り、児童数と学校規模に応じた予算の配当を行い、各校の事業スケジュールに合わせた予算の執行に努めた。 ・小学校教材備品整備事業 児童の学力向上及び授業の効率化を目的に教材・教具の購入を実施し、その充実に努めた。 ・中学校管理運営事業 消耗品の購入及び修繕等に係り、生徒数と学校規模に応じた予算の配当を行い、各校の事業スケジュールに合わせた予算の執行に努めた。また、学校施設の維持管理に係る軽作業等を実施する学校校務員(1名/校)を配置し、生徒等がより良い環境で過ごせるように努めた。 統合後の霞ヶ浦中学校においては遠距離通学の生徒を対象としたスクールバスの運行を、千代田中学校においては軽作業時の廃棄物の運搬等に資する目的で軽トラック1台の配備を実施した。 ・中学校教材備品整備事業 生徒の学力向上及び授業の効率化を目的に教材・教具の購入を実施し、その充実に努めた。 <p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校管理運営事業、中学校管理運営事業 小中学校の管理運営費については、児童生徒数の他、施設規模等が異なることから必要とする予算が異なるため、学校ごとの予算の必要性を見極めながら適正な予算の確 				

保と執行に努める必要がある。

・ 小学校教材備品整備事業、中学校教材備品整備事業

小中学校の教材備品整備については、備品の購入に際し、優先順位を念頭に置きながら学校と連携を図り、安定した備品の確保を図っていく必要があり、必要な備品の採択と整備に努めることが肝要である。また、統合が予定されている小学校においては、統合予定校間で連携を図りながら計画的に備品の整備を実施する必要がある。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・ スクールバスの運行については、利用者の実態を踏まえて、休日の運行本数を減らしたことは評価できる。
- ・ 小中学校の管理運営費は、学校ごとの児童数・規模に応じた必要予算の執行を引き続きお願いしたい。
- ・ 各中学校に学校校務員 1 名が配置されたことは、学校のよりよい環境づくりに喜ばしい。
- ・ 統合における廃校備品の処分の仕方は有効利用を十分考慮すべきである。
- ・ 各学校が希望した教材備品予算の執行に関しては、その年度の授業に活用できるようできるだけ早い段階での予算執行に努めてほしい。

様式 1 (自己点検評価書類)

No. 7	施策の方向	1. 教育環境の充実	担当課・係	
			学校教育課 総務係	
施策の内容	・その他			
事業名 及び事業費	事業名	26 年度決算額	27 年度予算額	
	・教育委員会運営事業	2,627 千円	2,746 千円	
	・教育委員会事務局運営事業	6,732 千円	8,861 千円	
<p>【平成 26 年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 教育委員会会議（定例会 12 回・臨時会 4 回）を開催し、教育についての方針・施策などを合議により決定した。 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度改革）に伴い条例・規則・訓令・告示等の新規制定及び一部改正を実施し、制度改革の準備を行った。 ・教育委員会事務局運営事業 教育委員会事務局の所管事務、教育バスの管理及び運行を実施した。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い総合教育会議開催及び新教育長制度への移行などを適切に対応する必要がある。 ・教育委員会事務局運営事業 教育振興基本計画策定に伴い今年度アンケート調査等を行い、平成 28 年度計画策定への準備を行う必要がある。 				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育振興基本計画の策定に向けてアンケート調査をすることは効果的であるが、本市の教育の特色を明確にすることができるような質問項目を設定する必要がある。 				

- 教育委員の小中学校の巡見は、各学校の現場把握の観点から重要であり継続すべきである。
- 新たに設置された総合教育会議が、本市教育行政の充実に向けて実質的に機能するよう期待する。また、新教育長制度への移行により学校教育に限らず、更なる教育委員会所管事業の充実発展に結びつくよう努めてほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 8	施策の方向	2. 教育内容の向上		担当課・係
				学校教育課 学校教育係 教育指導室
施策の内容	<p>①児童生徒の確かな学力を育成するため、基礎的・基本的な学習の定着や一人ひとりの習熟度に合わせた主体的な学びを引き出す教育に取り組めます。</p> <p>②情報化や国際化など新しい時代に対応した教育を進めます。また、本市の自然環境を活用した環境教育や福祉施設、各種事業所での社会体験を取り入れた教育など、地域に合った教育の実践に取り組めます。</p> <p>③教職員の資質向上、指導力の強化を図るため各種研修事業への積極的な参加を促進するとともに、指導主事、ALT（外国語指導助手）などの継続配置を行います。</p> <p>④ICT（情報コミュニケーション技術）などの専門知識を有する人材の配置を促進し、教育内容の充実を図ります。</p> <p>⑤心身ともに健康で、生涯にわたりスポーツに親しむ習慣を培うため、指導計画や指導体制の整備に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・教育指導事業 (事務事業評価シート/P.1)	3,191千円	25,130千円	
	・指導主事設置事業 (事務事業評価シート/P.3)	27,916千円	28,596千円	
	・英語指導助手設置事業 (事務事業評価シート/P.5)	25,056千円	20,882千円	
	・教育推進団体設置事業 (事務事業評価シート/P.9)	3,069千円	3,180千円	
	・中学校部活動支援事業 (事務事業評価シート/P.11)	10,987千円	11,840千円	
	・教育活動指導員設置事業	3,498千円	0千円	
	・小学校教育振興事業 (事務事業評価シート/P.25)	5,027千円	10,620千円	
	・中学校教育振興事業 (事務事業評価シート/P.41)	4,307千円	4,409千円	
【平成26年度取組内容】				
・教育指導事業				

土浦・石岡・かすみがうらの3市で構成する茨城県第6採択地区教科用図書選定協議会の採択を受けて、平成27年度使用教科用図書の小学校用教科用図書及び小・中学校特別支援学級用教科用図書の整備を実施した。また、本市の歴史・文化等を学び、郷土愛を醸成するため、小学3・4年生用の社会科副読本及び補助教材（DVD）を作成した。

・指導主事設置事業

県からの派遣により指導主事3名を配置し、学校運営に係る各種指導及び計画訪問等での職員への指導、助言及び教職員の服務規律の確保と学校事故の未然防止、並びに円滑な人事異動等を実施した。特に、いじめの未然防止については、全校で「学校いじめ防止基本方針」を定め、「市いじめ防止等に関する条例」及び「市いじめ防止基本方針」の策定を進めるなど、いじめ防止活動の推進を図っている。

・英語指導助手設置事業

ALT（外国語指導助手）を中学校（4名／3校）及び小学校（2名／13校）に配置し、中学生の英語科授業と小学生の外国語活動における初期実践英語の習熟を実施し、国際化教育の充実を図った。

・教育推進団体設置事業

市の教職員等で組織する『かすみがうら市教育研究会』の活動を助成し、教育水準の向上と教職員等の資質向上を図った。

・中学校部活動支援事業

中学生の協議意欲の向上と心技体の強化及び協調性の育成を目的に各部活動に係る経費を助成し、活動を円滑に運営することにより生徒の健全育成を図った。

・教育活動指導員設置事業

1学級に異学年が混在する複式学級を複数有する学校の円滑な運営を図るため、教育活動指導員を配置した。

・小学校教育振興事業

観察実験アシスタントの配置による理科の実験準備や理科準備室の整備の推進。夏季休業中5日間、全小学校の4年生と5年生の学びの広場のサポーターを、クラスごとに配置し実施した。

・中学校教育振興事業

問題生徒への対応として、学校生活相談員（警察OB）を二中学校に常時2名（計4名中）を登校時から下校まで配置した。生徒の見守り活動や必要に応じて警察との連携を実施した。

【課題・今後の対応】

・教育指導事業

文部科学省において定期的に指導要領が改正され、その都度新しい教科書が採択されることとなり、当該変化に応じた指導書を整備するための財源の確保や新しい指導要領に適合した環境を整備していくことが肝要である。また、昨今の情報化社会における児童生徒のニーズに合わせ、デジタル教科書等の電子教材の導入の検討が必要である。

・指導主事設置事業

新学習指導要領が、小・中学校において適用され、授業数が増加になる他、生徒指導の問題や特別支援教育の充実など、学校における様々な諸問題が増えつつあり、今後も指導主事の役割は重要である。また、社会情勢などの諸変化に伴い指導方法・学校運営・保護者のニーズなどが常に変化しつつあり、これらの変化を捉え学校運営の適切な指導助言を行い、さらに、教職員の服務体制の確立及びコンプライアンス委員会等の実施内容を確認し、指導を継続していく。いじめ問題については、「市いじめ防止等に関する条例」及び「市いじめ防止基本方針」の施行により、関係機関連携の基に組織的に克服することを目指し、学校、教育委員会、福祉事務所、警察署その他関係機関の連携の推進を図っていく。

・英語指導助手設置事業

新学習指導要領により小学校に外国語活動が導入され、先行して小学校へALT（外国語指導助手）の導入を図ってきた。今後も小学校外国語活動及び中学校英語科授業における児童生徒への体験に不足が生じないように、ALT（外国語指導助手）の充実した継続活用と当該事業実施のための財源の確保を図っていく必要がある。

・教育推進団体設置事業

教育水準の維持と向上を図っていくため、その指導方法等において市教育研究会を通じ、学校間と教職員間の連携を図っていくことが重要である。また、新学習指導要領の施行により、小学校においては平成23年度、中学校においては平成24年度から新しい指導内容がスタートし、児童生徒の学習が円滑に進むよう、更なる取り組みを考慮する必要がある。

・中学校部活動支援事業

中学校の部活動においては、教育活動としての有効性が認められており、継続した活動の支援が必要である。また、その成果でもある茨城県大会及び関東大会には複数の部が出場を果たし、都道府県対抗で実施される全国大会には茨城県選抜として複数の生徒が選出されており、それらについても引き続き柔軟な支援が必要である。

・教育活動指導員設置事業

複式学級を有する学校において、平成27年度からは、1複式学級にTT非常勤講師1名ずつを配置するよう見直しを行った（2小学校3クラス）。

- ・ 小学校教育振興事業
観察実験アシスタントの機能的な配置と、先生方との事前の打ち合わせの時間の確保。学びの広場のサポーターの確保と 6 年生への学びの広場への拡大。
- ・ 中学校教育振興事業
授業離脱生徒に進路目標を持たせるための教師と生徒の人間関係づくりと個別の学習支援を図っていく必要がある。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・ 情報化社会に対応できる児童生徒の育成に向けて電子教材の導入を検討していることは評価できるが、「活動あって学びなし」とならないよう、効果的な活用の仕方についての教員の研修等も必要である。
- ・ 平成 32 年の学習指導要領改訂に向けて中央教育審議会でも検討が始まっている。小学校 3 年生から外国語が導入されるので、英語指導助手の活用はますます重要となってくる。小学校へ配置していることは評価できる。
- ・ 教育における格差が拡大している現状がある中、学びの広場を 6 年生まで広げるとは大いに評価できる。学びの広場のサポーターを大学生に依頼する場合、7 月下旬は大学生のテスト期間と重なり、活用が難しい現状にある。大学生を活用する場合には実施時期を検討する必要がある。
- ・ いじめについては、児童生徒にとって大きな問題である。いじめ防止活動の充実を図るとともに健全な精神的に強い子の育成を願いたい。
- ・ 中学校における問題生徒の対応として学校生活相談員（警察 OB）の配置は生徒の見守り活動として必要に応じて実施してほしい。
- ・ 指導主事・ALT・教育活動指導員・観察実験アシスタント等の人的配置は、教育効果を高めるために重要である。今後も継続して配置をお願いしたい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 9	施策の方向	3. 教育相談の充実		担当課・係
				学校教育課 学校教育係 教育指導室
施策の内容	<p>①教育相談員やスクールカウンセラーなどを配置し、教育に係る様々なケースの相談やサポートする体制の充実により、学校、行政、医療機関と連携を図りながら、社会環境や学校環境の変化に対する対応の迅速化に努めます。</p> <p>②総合的な教育相談体制の整備及び施設や設備などの充実に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・教育支援委員会設置事業	240千円	255千円	
	・学校介助員設置事業	21,790千円	23,105千円	
	・教育相談事業	4,355千円	4,453千円	
	・小学校就学支援事業	7,352千円	9,609千円	
	・中学校就学支援事業	6,952千円	9,708千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会設置事業 教育支援委員会を組織し、心身の障害等により通常の学級への就学が困難と判断される児童生徒の就学先の判定とその指導を実施した。 ・学校介助員設置事業 心身に障害のある児童生徒に学校介助員22名を配置し、個々の介助により学校生活の円滑化を図った。 ・教育相談事業 適応指導教室(ひたちの広場)を設置し、不登校児童生徒の集団生活への適応指導を行うことにより学校への復帰支援を実施した。 ・小学校就学支援事業、中学校就学支援事業 家庭の経済的事情により就学が困難な児童生徒に対し、就学援助費の支給を実施した。また、知的・情緒・言語等の障害により特別支援学級に通級する児童生徒に対し、保護者の負担軽減を図る目的で就学援助費の支給を実施した。 申請の窓口となる現場の教職員等に対し、当該支援制度内容の研修を実施し、理解度を深めた。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会設置事業 小学校就学前の幼児を持つ保護者から通常の学級での適応に対する調査員による相談を求められるニーズが多くなっている反面、就学後に就学指導が必要と思われる児 				

童が生ずるなど対象児童を把握する方法に工夫が必要と考えられる。また、特別支援教育の必要性の検討を要する児童生徒を把握するため、児童生徒の状況を十分に把握し、関係機関との連携を図りながら判断する必要がある。

・学校介助員設置事業

心身に障害を持つ児童生徒の通常の学級への就学希望が増えており、これに伴い学校介助員の需要も増してきている。また、当該児童においては、将来を見据え、介助の必要が無くなるよう将来の自立を促す指導育成を図っていくことが肝要である。

・教育相談事業

児童生徒あるいは保護者からの教育相談におけるニーズは今後も増加するものと考えられるため、今後の相談体制の充実と学校等との連携の取れた活動が必要である。

・小学校就学支援事業、中学校就学支援事業

景気が低迷し、就労状況の改善に抜本的な見通しが見つからない中、就学支援を求める保護者が増加傾向にあり、それを賄うための財源の確保と適正な認定基準の更なる精査と、当該制度を広く認知してもらうための周知方法等の検討が必要である。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・障害のある児童生徒の通常学級での就学を希望する保護者の増加に伴い、学校介助員の配置増加や、自立に向けた介助の取組を検討していることは大いに評価できる。
- ・小中学校就学支援事業については、社会環境の変化に伴い経済格差が教育格差につながる懸念があり、就学支援を求める保護者が増加傾向にあることから適正な認定基準を定め、今後、その認定基準が、現状より厳しくなることのないよう配慮をお願いしたい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 10	施策の方向	4. 特色ある学校づくり		担当課・係
				学校教育課 学校教育係
施策の内容	<p>①児童生徒の創造性や活力を生かした様々な体験・交流活動など、各小中学校の特色ある取組みを支援します。</p> <p>②児童生徒の望ましい食習慣づくりを促進するとともに、地域の食材を生かした学校給食に取り組みます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・特色ある学校づくり推進事業 (事務事業評価シート/P.7)	3,578千円	3,780千円	
	・小学校給食管理運営事業 (事務事業評価シート/P.15)	77,943千円	88,063千円	
	・中学校給食管理運営事業 (事務事業評価シート/P.31)	61,391千円	59,244千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくり推進事業 児童生徒の学力向上、勤労奉仕活動の充実、健康安全、研究推進に関する諸活動を各学校主体で実施した。 ・小学校給食管理運営事業 給食設備等の修繕等を行いながら(一部)調理業務の委託等を行い、自校方式(一部親子方式)による学校給食の運営を実施した。 ・中学校給食管理運営事業 給食設備等の修繕等を行いながら調理業務の業務委託等を行い、自校方式による学校給食の運営を実施した。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくり推進事業 特色ある学校づくりについては、各学校での取り組み内容の公表や他校での取り組み状況などと比較できるような仕組みを構築し、事業効果の充実を図ることが必要である。また、それらが各学校の特色が現れるような事業に結び付けることが肝要である。 ・小学校給食管理運営事業、中学校給食管理運営事業 各校の施設及び設備の老朽化が進んでいるため、安定した給食の供給が行えるよう設備等の点検を実施し、長中期的な視野に立った計画的な設備機器等の更新を図っていく必要がある。また、食物アレルギーを持つ児童生徒に対応した給食の実施検討が必要である。 				
<p>【実施事業の内部評価】</p>				

- | |
|---|
| <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p> |
| <p>【その他】</p> |
| <p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・小中学校において自校方式の給食を継続することは、除去食にも対応できるとともに、暖かい給食を食べることで食に関する感謝の気持ちを抱くこともでき、有効である。・小中学校の給食管理については、衛生管理に十分気をつけ、地産地消による特色ある学校給食の取り組みを継続してほしい。・食物アレルギーについては、引き続き保護者との連携により留意してほしい。・地域に開かれた学校として、学校ごとに地域の特色を生かした事業を行うことは極めて大事なことである。そのためには事業費が不可欠であり、各学校が児童生徒の心豊かな成長に資する事業に意欲的に取り組むことができるよう十分な予算確保に努めてほしい。 |

2 生涯学習の充実

様式1 (自己点検評価書類)

No. 11	施策の方向	1. 生涯学習推進体制の確立	担当課・係	
			生涯学習課 社会教育係 霞ヶ浦・千代田公民館 図書館 郷土資料館	
施策の内容	<p>①生涯学習推進計画を策定し、生涯学習推進体制の整備充実と計画に沿った推進に努めます。</p> <p>②生涯学習推進に係る組織の連携と協力体制の充実に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・生涯学習推進事業（共通） （事務事業評価シート／P.53）	5,695千円	2,987千円	
	・公民館運営審議会運営事業	165千円	225千円	
	・図書館運営事業（共通） （事務事業評価シート／P.67）	8,805千円	10,684千円	
	・郷土資料館管理運営事業（共通） （事務事業評価シート／P.87）	8,921千円	11,547千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>生涯学習課の進むべき方向や様々な課題に対し、学識経験者や関係団体の代表者の方の意見を聞くため、以下の4つの諮問機関がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業 社会教育委員会議の開催（年1回）。 ・公民館運営審議会運営事業 公民館運営審議会の開催（年2回 地区公民館のあり方についての答申を受ける）。 ・図書館運営事業 図書館協議会の開催（年2回）。 ・郷土資料館管理運営事業 郷土資料館運営協議会の開催（年2回）。 <p>※参考 あじさい館管理事業 福祉館運営協議会の開催（年1回）。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業 平成27年度から策定の準備に入る「第2次かすみがうら市総合計画」を踏まえた「生涯 				

学習推進計画」の策定を進めていく必要がある。

・公民館運営審議会運営事業

平成 26 年度の公民館運営審議会から答申を受けた「周辺市町村の実情から鑑みても、各中学校ごとに地区公民館を組織して、事業を展開していくことが適正であると考える。」を、平成 28 年 4 月から実践できるよう、平成 27 年度は新しい公民館の形づくりに取り組んでいく。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・新しい公民館づくりについては、マンパワーによるところが大きい。既存の団体との連携を密にしながら進めていることは、効果的である。
- ・生涯学習推進計画の策定を進めるにあたっては、市民の要望に応えられるような計画にしてほしい。
- ・小中学校の統合に伴い、今後、中学区ごとの新しい公民館の組織づくりに取り組み、公民館活動事業の充実を図ってほしい。
- ・生涯学習団体事務の自主運営や事業の再検証・再構築及び既存事業の再検証に努めていることは行政の姿勢としてすばらしい。引き続き市民が求めるニーズに応える事業の展開に努めてほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 1 2	施策の方向	2. 生涯学習機会の提供と生涯学習団体への支援	担当課・係	
			生涯学習課 社会教育係 霞ヶ浦・千代田公民館 文化振興係 郷土資料館	
施策の内容	<p>①市民がより充実した人生が送れるよう、学びたい、楽しみたいなど、市民の多種多様なニーズに応じた様々な催しもの、講座、教室などを開催し、市民の生きがいがづくり、仲間づくりなどの機会を提供します。</p> <p>②市民の生涯学習の意欲を高めるため、各種文化団体や同好会、サークル、講座生の作品展示や発表会など、発表の機会や情報発信とPRの場などを提供します。</p> <p>③趣味、教養、芸術などに関する自主的活動を行う文化団体などの活動を支援します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・生涯学習推進事業(共通) (事務事業評価シート/P.53)	5,695千円	2,987千円	
	・女性団体行政事業 (事務事業評価シート/P.57)	700千円	700千円	
	・放課後子ども教室推進事業 【学校家庭地域の連携協力推進事業 へ名称変更】	226千円	—	
	・学校家庭地域の連携協力推進事業 (事務事業評価シート/P.59) 【27新規】	—	764千円	
	・生涯学習市民協働事業【27新規】	—	1,200千円	
	・霞ヶ浦公民館運営事業 (事務事業評価シート/P.75)	777千円	1,583千円	
	・千代田公民館運営事業 (事務事業評価シート/P.79)	1,258千円	764千円	
	・文化芸術振興事業 (事務事業評価シート/P.83)	1,182千円	1,161千円	
	・郷土資料館管理運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.87)	8,921千円	6,595千円	

【平成 26 年度取組内容】

・生涯学習推進事業

慣例的、継続的に実施している事業が多く、その受講者、参加者が固定化している傾向が見受けられるため、原点に戻って、何を目的にしている事業なのか、誰のための（どの世代をターゲットにしているのか）事業なのかを意識しながら、事業の再検証・再構築に取り組み、平成 27 年度は新しいラインナップを組むことができた。平成 26 年度で廃止となった事業も、ただやめるのではなく、サークル・同好会化への誘導、別部署や同様の事業を行っている民間団体への移行など、ソフトランディングを心掛けた。

・女性団体行政事業

かすみがうらマラソン・あゆみ祭り・かすみがうら祭など各種行事への参加協力。
チャリティーショー、男女共同参画研修会、金融学習活動など自主事業開催への各種支援を行った。

・放課後子ども教室推進事業

県からの補助を受け、新治小学校児童を対象に、地域住民の力を借りて、スポーツ、文化、レクリエーション等、各種体験教室を年 10 回実施した。

・霞ヶ浦・千代田公民館運営事業

二つの公民館で IT や教養、文化、教養、スポーツ等の各種講座を開講した。

・文化芸術振興事業

文化協会及び協会加盟団体の各種活動の支援を行った。また、各団体の発表や作品展示の機会を提供した。

・郷土資料館管理運営事業

ふるさとに誇りと愛情を持ってもらえるよう、ふるさと教育を推進するため、市民学芸員の協力を得て、歴史や文化に関する各種講座を開講した。

【課題・今後の対応】

・生涯学習推進事業

平成 27 年度からの新規事業が上手く実施できるよう積極的に準備、調整を進めていく。

・放課後子ども教室推進事業⇒平成 27 年度から学校家庭地域の連携協力推進事業

ほかの学校で事業展開するには、職員直営では、物理的に困難であるため、「地域の子供は地域で育てる。」という事業本来の趣旨に基づいた形で、地域住民の方の自主運営による事業展開の可能性を探り、平成 27 年度からは、以前から同様の事業に実施していた「下稲吉中学校区三校連支援ボランティア」に委託という形で、①下稲吉中学校での放課後の学習支援、②いなよし学習広場での土曜日の学習支援、③下稲吉東小学校での放課後の体験教室に取り組んでいる。今後は、他校においても同様の形で事業展開できるよう検討、調整を進めていきたい。

・霞ヶ浦・千代田公民館運営事業、文化芸術振興事業

既存の文化団体等の各種団体が高齢化、マンネリ化等の理由により、団体数や会員数が減少している傾向があることから、あらかじめ、講座終了後の同好会化・サークル化を意識した講座を開講する必要がある。あわせて、文化団体等との連携を深め、会員数を増やしたいと希望している団体への支援を行っていききたい。また、市民の学習意欲を高め、励みとなるよう、活動の成果を発表する機会の拡充を図っていききたい。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・学校家庭地域の連携協力推進事業については、ますますニーズが高まっている。ボランティアに委託していくことは大いに評価できる。放課後の活用で運動する機会と場を提供できるような取り組みについても期待したい。
- ・生涯学習機会の提供としての講座・教室は市民の生きがづくり・仲間づくりに寄与するものである。マンネリ化に留意し、事業の再検証・再構築に取り組んでいることは評価できる。市民にとって魅力あるものであってほしい。
- ・生涯学習事業を実施する上でPDCAサイクルを重視して改善に努めていることが分かる。放課後子ども教室推進事業を学校家庭地域の連携協力推進事業として事業展開していくことは理想的なことであり、成果に期待したい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 13	施策の方向	3. 生涯学習施設の整備充実	担当課・係	
			生涯学習課 霞ヶ浦・千代田公民館 図書館 あじさい館管理係 郷土資料館	
施策の内容	<p>①市民が快適に利用できるよう、公民館、図書館などの生涯学習施設の適切な維持管理に努め、施設、設備の整備充実を図ります。</p> <p>②あじさい館内の図書館本館については、生涯学習の中核施設として、多様化する市民のニーズに応じた図書館資料を充実させ、情報の提供を図ります。なお、図書館千代田分館においては、ミニ文庫を継続して行い、図書の利用促進を図ります。</p> <p>③読書の普及活動として、ボランティア団体の協力を得ながら、ブックスタートや読み聞かせ会を行います。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・霞ヶ浦地区公民館管理事業	4,972千円	4,624千円	
	・千代田公民館管理事業	17,590千円	15,348千円	
	・図書館運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.67)	8,805千円	10,684千円	
	・蔵書整備事業 (事務事業評価シート/P.69)	7,384千円	7,042千円	
	・ブックスタート事業 (事務事業評価シート/P.71)	149千円	337千円	
	・あじさい館管理事業(共通) (事務事業評価シート/P.89)	96,677千円	70,252千円	
	・郷土資料館管理運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.87)	8,921千円	11,547千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦地区公民館管理事業 施設の火災報知器点検及び浄化槽保守点検、施設管理、室内清掃、除草作業を実施し、安全性、機能性を保持確保した。また、旧安飾地区公民館跡地についてはフェンス撤去工事を行い普通財産に所管替えをした。 ・図書館運営事業 図書の貸出、図書検索情報提供、朗読ボランティア育成講座、読書週間記念作品募集、読み聞かせ団体の活動支援等を行った。 				

・蔵書整備事業

図書・視聴覚資料の購入、蔵書点検作業の実施。

・ブックスタート事業

ボランティアによる4ヶ月検診時に絵本、イラスト・アドバイス集、バックの配布の実施。

・あじさい館管理事業

公民館、図書館、福祉館を訪れた方が施設を安全安心かつ快適に活用できるよう適正管理に努めた。その一環として、屋上防水改修工事やロータリー屋根付き通路天井改修工事、消防設備修繕など、様々な修繕を行った。

・郷土資料館運営事業

郷土資料館では、施設利用者が安全で快適に見学できるよう庭園の草刈りや植栽管理、館内の適正な保守管理に努めた。また、陥没していた石畳の補修や館内の茅葺ディスプレイ展示施設や展望パネル修繕などの補修を行った。

【課題・今後の対応】

・霞ヶ浦地区公民館管理事業

平成28年4月からは、「中学校区毎に公民館を位置づけし事業展開していく」という市の方針に基づき、霞ヶ浦地区の地区公民館は、平成27年度いっぱい、地区公民館としての位置づけをなくすが、地域住民の関心毎である、建物自体のその後の取り扱いについて、明確にしてもらうようFM担当部署に働き掛けていく。

・千代田公民館管理運営事業

公共施設の更新、適正配置が未確定との理由から、今まで各種修繕がストップされていた経緯があるが、放置したままでは住民サービスの低下はもとより、安全性も確保できないので、年次的、継続的、計画的に施設の修繕に取り組む必要がある。

・図書館運営事業

新しく導入した「図書システム」の費用対効果を示す必要がある。

・蔵書整備事業、ブックスタート事業

住民ニーズに応じた資料の確保をするとともに、県内の図書館相互利用により、他館との資料の貸借を積極的に行う。また、蔵書点検作業やブックスタートのお手伝いしてくれる各種ボランティアの人材確保及び育成に努める。

・あじさい館管理事業

建物、設備など、経年劣化が進んでおり、日々新たな不具合、故障個所が生まれている現状がある。その中でも保健福祉部からの事務委任により教育委員会が運営しているお風呂については、①福祉の観点から、今後もお風呂が必要なのか？②もし、お風呂が必要だとしても、ボイラーの更新等、今後も大きな修繕費用がかかっていく中、その運営形態や入場料等をどうしていったらよいのか？など、根本的な問題を検討していく必要がある。

・郷土資料館管理運営事業

県指定文化財風返稻荷山古墳出土品の国指定文化財に向けて、収蔵庫の改修をする必要がある。また、展示施設の老朽化と展示内容の見直しのため、開館 30 周年に向けて展示室のリニューアルなどを検討する必要がある。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・霞ヶ浦地区及び千代田地区の公民館管理事業については、地域住民のコミュニティーの形成を促すことができるような整備を期待したい。
- ・千代田公民館内の図書館分館については、図書館の機能を十分発揮できるよう計画的に整備拡充を図ってほしい。
- ・本市にとって、生涯学習の振興に係るあじさい館・図書館等の生涯学習施設の存在意義はすこぶる大きい。市民が快適で使い勝手のよい施設となるよう市民本位の管理運営に努めてほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 14	施策の方向	4. 生涯学習情報の提供		担当課・係
				生涯学習課 社会教育係
施策の内容	<p>①多様な生涯学習活動を支援するため、文化、芸術、レクリエーション活動など、一芸に秀でた市民を「生涯学習推進バンク」に登録し、市内の学校、団体、サークルなどの求めに応じ、講師、指導者として紹介し、市民の生涯学習の支援を行います。</p> <p>②市民の学ぶきっかけとなるようマナビィガイドやホームページなどにより、講座や教室、文化団体やサークル、指導者などの情報を提供します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業（共通） （事務事業評価シート/P.53） ・生涯学習情報提供事業 【27新規事業】	5,695千円	2,987千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報提供事業 <p style="text-align: center;">—</p> <p style="text-align: center;">446千円</p>				
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業 生涯学習人材バンクの登録と紹介を行った。（登録者数52人 利用件数17件） 生涯学習事業案内誌「マナビィかすみがうら」の発行（前期：3月下旬、後期：8月下旬） 並びにホームページを活用し、市民へ生涯学習情報の周知を行った。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業⇒平成27年度から一部 生涯学習情報提供事業へ移行 平成27年度から、従来の講座等の情報提供だけでなく、事業の様子の紹介など、広報的な要素も入れ、多くの市民の方に生涯学習への興味と関心を持ってもらえるよう「マナビィかすみがうら」やホームページを拡充すべく、生涯学習情報提供事業として独立させることとした。また、生涯学習推進人材バンクについては、自己申請だけでなく、有望な人をスカウトし、売り込むなど、利用件数の向上に努める。 				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> A. 大いに達成できた <input type="checkbox"/> B. 達成できた <input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた <input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった 				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材バンク制度については、利活用が進むよう対策を講じたことは評価できる。 引き続き、登録者を幅広く利用できるよう、さらなるPRを継続してほしい。 				

- 文化団体やサークルの紹介等、マナビィガイドやホームページで情報を提供することは効果的である。
- 生涯学習推進事業から一部生涯学習情報提供事業へ移行したことは大変有意義なことである。多くの市民の方が、より一層生涯学習への興味と関心を持てるよう創意工夫をした事業展開を期待したい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 15	施策の方向	5. 地区公民館活動と地域活性化運動		担当課・係
				生涯学習課 霞ヶ浦公民館
施策の内容	<p>①霞ヶ浦地区の地区公民館については、地域の自主性、独自性を尊重しながら、学習や集会、地域と連携した活動など、特色ある各種事業を実施します。</p> <p>②地域活性化のため、関係機関と連携して、新生活運動、集落センターを核としたふるさとづくり運動、花とみどりの環境美化運動を推進します。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・公民館活動推進事業 (事務事業評価シート/P.73)	6,611千円	7,670千円	
	・集落センター連絡協議会運営事業 (事務事業評価シート/P.77)	91千円	91千円	
	・新生活運動推進協議会運営事業	106千円	0千円	
	・新しい公民館の形づくり事業 【27新規事業】	—	400千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動推進事業 地域住民の親睦と融和を図るため、下大津、美並、牛渡、佐賀、安飾、志士庫の6地区において、合同運動会、体育祭、球技大会、移動講座、ハイキング、各種講座等を実施した。また、霞ヶ浦地区公民館及び6地区公民館の役員で構成する「地区公民館の統廃合を協議する検討委員会」において、平成28年4月以降の「霞ヶ浦地区の公民館の組織、運営、活動」などについて、3回（ほか平成25年度に2回、あわせて5回）にわたり話し合いを行い、その結果を「霞ヶ浦地区の地区公民館の今後のあり方を求める要望書」としてまとめ、市長に提出した。 ・集落センター連絡協議会運営事業 集落センターの円滑な運営を期するため、環境美化運動（草花配布：年2回）や料理講習会、出張映画上映会、視察研修等を実施した。 ・新生活運動推進協議会運営事業 生活の合理化と充実を図るため、新生活啓蒙チラシの市内全戸配布。葬祭ポスターの印刷、販売を行った。 				

【課題・今後の対応】

・公民館活動推進事業、新しい公民館の形づくり事業

平成 28 年 4 月には、霞ヶ浦地区、千代田地区共に、新しい公民館の形での事業展開が着実に実施できるよう準備を進めていく。

・集落センター連絡協議会運営事業

平成 27 年度中に同協議会事業を公民館事業へスムーズに受け込ませられるよう進める。

・新生活運動推進協議会運営事業

周知・啓蒙を継続することが重要であり、優良事例の発掘やチラシの作成・配布等で活動を継続しつつ、調査・検討を進める。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・新しい公民館を形成するためには、初期の段階では、ある程度行政主導で協働的に進める必要がある。
- ・中学校区ごとに地区公民館を組織し、事業を実施する新しい公民館活動の成果が大いに期待できる。公民館活動を新たな視点で再構築し、住みよいまちづくりに資するための準備に万全を期してもらいたい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 16	施策の方向	6. スポーツ・レクリエーション活動の推進	担当課・係	
			生涯学習課	スポーツ振興係
施策の内容	<p>①地方スポーツ推進計画を策定し、施設の整備や組織の育成に努め、地域におけるすべての世代の人々の交流が促進され、地域間の交流の基盤が形成されるようスポーツ・レクリエーション機会の創出を図ります。</p> <p>②指導者の育成を図りながらスポーツ団体の育成強化に努めるとともに、各種事業や団体活動との連携強化を図ります。</p> <p>③総合型地域スポーツクラブを支援し、誰もが健康の保持増進及び安全の確保を図りながら気軽にスポーツに親しめる機会を提供します。</p>			
関係事業名	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・かすみがうらマラソン大会開催事業 (事務事業評価シート/P.61)	3,000千円	3,000千円	
	・市民ふれあいスポーツ推進事業 (事務事業評価シート/P.63)	3,937千円	3,803千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かすみがうらマラソン大会開催事業 土浦市と共同で平成26年4月20日、第24回かすみがうらマラソン大会兼国際盲人マラソンかすみがうら大会を実施した。総エントリー数27,423人。 ・市民ふれあいスポーツ推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ①市民ふれあいスポーツフェアの開催 市と市体育協会が共催し、総合型地域スポーツクラブ協力のもと、あじさい館周辺を中心として、スポーツの体験と各種団体のスポーツ大会を実施した。 ②市民マラソン大会の開催 市体育協会共催で多目的運動広場を会場として実施した。 ③ふれあいサイクリングの開催 恋瀬川サイクリングロードを活用した事業として実施した。 ④カヌー体験教室の開催 B&G エンジョイ海洋クラブに委託し、カヌーの体験教室を実施した。(全6回) ⑤水泳教室の開催 B&G 海洋センタープールにて小学生を対象に水泳教室を開催した。(全5回) ⑥スポーツ・レクリエーション祭の開催 市総合型地域スポーツクラブに委託し、第一常陸野運動公園において体験型スポーツレクリエーションを中心とした催し物を実施した。 				

【課題・今後の対応】

・かすみがうらマラソン大会開催事業

より安全性を向上するために、環境の整備並びに交通規制にかかるさらなる周知が必要である。また、マラソンに参加しない市民の方にもより一層愛着と親しみを持ってもらえるような方策を検討していきたい。

・市民ふれあいスポーツ推進事業

スポーツのある生活、健康寿命の延伸という大きな目標のために、同事業の位置づけを「スポーツへのきっかけづくり」と明確にした事業展開をしていく。また、総合型地域スポーツクラブとの連携を深め、市民協働パートナーとしての事業展開を目指す。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・様々な取り組みを通して市民の運動機会を拡大していることは評価できる。女子の運動機会を拡大できるような取り組みを期待したい。
- ・土浦市と共同でのかすみがうらマラソン大会開催事業は、年々参加者が増加していることは喜ばしい。参加しない千代田地区の市民も関心を持ってもらえるような方策が必要であり、市民全体の盛り上がほしい。
- ・市民の健康寿命の延伸を図るとともに、スポーツを通じて幸福で豊かな生活の実現に向けて、引き続き事業を推進してほしい。
- ・ふれあいサイクリングやカヌー体験教室等、特色ある事業については安全を確保して継続してほしい。
- ・市民ふれあいスポーツ推進事業を「スポーツへのきっかけづくり」という明確な位置づけにより展開している。さらに総合型地域スポーツクラブとの連携を深め、市民協働パートナーとしての事業展開を目指すという計画は、スポーツ人口の底辺拡大に結び付くものと期待する。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 17	施策の方向	7. スポーツ・レクリエーション施設の利用促進	担当課・係	
			生涯学習課	スポーツ振興係
施策の内容	<p>①既存スポーツ施設を連携し効果的かつ効率的な活用を図り、様々なスポーツの需要に対応します。</p> <p>②スポーツ施設の利用を促進するため、施設の整備と手続きの簡素化を図り、利便性の向上を図ります。</p> <p>③スポーツ・レクリエーションの場を幅広く提供するとともに、利用者の利便性を考慮し学校施設の利用を推進します。</p>			
関係事業名	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・市民ふれあいスポーツ推進事業 (事務事業評価シート/P.63)	3,937千円	3,803千円	
	・体育センター管理運営事業	2,785千円	1,625千円	
	・わかぐり運動公園管理運営事業	18,892千円	18,382千円	
	・多目的運動広場管理運営事業	23,764千円	23,203千円	
	・戸沢公園運動広場管理運営事業	7,228千円	7,665千円	
	・第1常陸野公園管理運営事業	25,459千円	26,062千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各体育施設管理運営事業 施設の維持管理業務については、受付業務からグラウンドや緑地の管理まで含めた民間への一括管理委託を実施している。専門の業者による芝等の管理を行ったことにより、施設環境が向上しており、利用者数も増加している。また、施設利用者の利便性の向上のために県内統一オンラインシステムを採用して予約受付を行っている。 市民ふれあいスポーツ推進事業 地域の方に身近なスポーツ施設を提供することを目的に学校開放事業にも取り組んでいる。 				
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各体育施設管理運営事業 突発的な事故や故障が発生した際の緊急対応の体制を整える必要がある。また、老朽化、経年劣化に伴う各施設の要修繕箇所を把握し、計画的に修繕を進める。 市民ふれあいスポーツ推進事業 霞ヶ浦地区小学校統廃合後の体育館の取り扱いが明確ではないことから、学校開放事業への影響が大きい。スポーツ活動の場の安定確保の観点から、生涯学習課で利用者のニーズの掌握や調整等に取り組む必要がある。 				

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・霞ヶ浦地区小学校の廃校後の体育館及び校庭の活用については、適正な料金を設定するなど受益者負担による運営を検討し、利活用が促進されるような方策を講じていく必要がある。
- ・体育施設管理運営が、民間への一括管理委託により施設環境の向上となり、利用者数の増加に結びついている。また、県内統一オンラインシステムを採用し利用者の利便性の向上を図っていることは評価したい。
- ・統合後廃校となる小学校体育館が生涯スポーツの拠点施設として果たしてきた役割は大きい。それを引き続き利用可能か、あるいは補完する施設があるかどうか、十分検討する必要がある。耐震性に問題がなければ管理体制を含めて課題は多いが、利用する方向で検討してほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 18	施策の方向	8. スポーツ・レクリエーション団体の育成		担当課・係
				生涯学習課 スポーツ振興係
施策の内容	<p>①生涯スポーツ指導員やスポーツ推進委員と連携して、指導の強化や組織の育成を図ります。</p> <p>②スポーツを通して青少年の健全育成を図るため、スポーツ少年団活動を推進します。</p> <p>③市民スポーツ団体や競技団体などの育成に努めます。</p>			
関係事業名	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・スポーツ団体育成事業 (事務事業評価シート/P.65)	4,848千円	5,127千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・スポーツ団体育成事業</p> <p>①体育協会各部主催大会の開催支援 体育協会加盟各団体及びスポーツ少年団に対して補助金により活動支援を行う。</p> <p>②スポーツ推進委員の育成 関東スポーツ推進委員研究大会等にスポーツ推進委員が参加した。また講師を招いて研修会を開催した。</p> <p>③スポーツ少年団市長杯大会の実施 市長杯大会について各種目のスポーツ少年団に委託し開催した</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・スポーツ団体育成事業 スポーツ推進員の役割を明確にし、市のスポーツ推進の一翼を担ってもらえるような体制づくりに取り組む必要がある。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>・スポーツ団体の運営については、ボランティアによるところが大きいことは理解しているが、総合型地域スポーツクラブが自主財源で運営していることに鑑み、補助金</p>				

の在り方について検討する時期にある。

- 青少年の健全育成の為、スポーツ少年団活動の推進を図ることは必要である。引き続き強化してほしい。
- 生涯スポーツ関係団体が、市民に対し実技指導やスポーツに関する指導助言を行うことはスポーツ振興のために重要である。委託料、補助金等によりスポーツ関係団体の自立を積極的に支援し健全育成を図ることで、市民スポーツの振興をめざしていきたい。

3 青少年の健全育成

様式1 (自己点検評価書類)

No. 19	施策の方向	1. 青少年健全育成活動の促進	担当課・係	
			生涯学習課 社会教育係	
施策の内容	<p>①青少年の健全な育成を図るため、地域活動における指導者の養成に努め、活動団体の連携のもと組織の強化を図ります。</p> <p>②地域の子ども会やスポーツ少年団、地域行事、奉仕活動など青少年が積極的に自主的活動ができる環境づくりを支援します。</p>			
関係事業名	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・青少年育成事業（共通） （事務事業評価シート/P55）	3,954千円	7,323千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・青少年育成事業</p> <p>①子ども会育成連合会 親子釣り大会、2014大好き子ども会リーダー大会への参加、かすみっこまつり、親子ふれあいハイキング等、市子ども会育成連合会主催の各種事業の支援を行った。</p> <p>②家庭の教育力充実事業 子育てひろばネットワークの企画による、未就学児とその保護者を対象とした「子育てひろば」事業を6回開催し、親子367組（延べ1,140人）が参加した。また、保護者の教育力を向上させるため、市内全小中学校1年生保護者を対象の家庭教育学級を実施（委託）した。</p> <p>③青少年育成団体（ボーイスカウト、ガールスカウト）への補助金交付</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・青少年育成事業</p> <p>子ども会育成連合会は、毎年同じような活動内容となっている。今後は、役員研修会等を行い意識改革を図りたい。また、休止状態の高校生会の復活、成人式実行委員会活動の拡充、大人大学受講者のサークル化等を絡ませ、新しい事業展開を目指す。</p> <p>子育てひろばは、天候によっては履行できなくなる事業があるので、事業内容や事業回数等の再検討が必要。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・家庭の教育力を高めるという視点で事業を展開していることは評価できる。
- ・未就学児と保護者を対象とした「子育てひろば」事業は親子のコミュニケーションの場ともなり、参加者が増加していることは喜ばしい。
- ・子どもたちの日常生活が学習塾や習いごと等で忙しくなっている昨今、地域での結びつきが弱体化している傾向が見られる。異年齢集団による活動である子ども会活動の良さを再認識し、活性化することにより青少年の健全育成を図ってほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 20	施策の方向	2. 青少年の健全育成と体制の整備	担当課・係	
			生涯学習課 社会教育係	
施策の内容	<p>①少年非行の早期発見や未然防止のため、青少年相談委員を中心に家庭と地域と行政が一体となって、街頭指導や夜間パトロールを行います。</p> <p>②各種相談や非行防止キャンペーンなどの啓発活動や有害図書類の監視など、家庭、学校、地域、各関係機関や団体と一体となって環境浄化活動を行います。</p> <p>③青少年育成市民会議の活動を強化し、市民総ぐるみで青少年の健全育成体制の充実を図ります。</p>			
関係事業名	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・青少年育成事業(共通) (事務事業評価シート/P55)	3,954千円	7,323千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・青少年育成事業</p> <p>①青少年相談員連絡協議会 青少年意識・動向等に対応しながら、市内の巡回指導(月2回)や店舗訪問、あいさつ運動、イベントの際のパトロール・啓発活動等を行った。</p> <p>②青少年育成かすみがうら市民会議 青少年健全育成を図るため、市民総ぐるみで運動を展開する非行防止キャンペーンの実施、親子釣り大会や青少年健全育成活動、中学生立志式への助成、中学生の主張大会の開催、青少年心身健全育成事業(ジュニア和太鼓講座)やウィークエンドコミュニティースクール事業の実施、成人式での成人者への記念品の贈呈等を行った。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・青少年育成事業 巡回指導の強化のため新任の青少年相談員に青色防犯パトロール講習を受講させる。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				

【点検・評価委員の意見】

- ・ 青少年の健全育成は急務であり多くの市民が参加することが必要不可欠である。「地域の子どもは地域で育てる。」という意識が薄れてきている現状を打破するためにも、青少年育成市民会議の活動を強化してほしい。

4 地域文化の継承と創造

様式1 (自己点検評価書類)

No. 21	施策の方向	1. 文化財などの継承と保護、活用	担当課・係	
			生涯学習課 文化振興係 郷土資料館	
施策の内容	<p>①市民や関係機関と連携して、有形及び無形の文化財を調査研究し、保存と伝承のための支援を行います。</p> <p>②指定文化財、埋蔵文化財をはじめとする文化財の現状を常時把握し、適正な保護と管理に努めます。</p> <p>③市民の期待に応えられるよう博物館機能を備えた郷土資料館として、学芸員など専門職を継続して配置するとともに、市民とともに運営する郷土資料館を目指し、市民学芸員の養成に努めます。</p> <p>④講座、体験教室、講演会、展覧会など、市民が郷土の歴史や文化財にふれる機会を広く提供し、文化財を身近に感じてもらうことで、文化財の保護、伝承などに対する理解と意識の高揚を図ります。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・富士見塚古墳公園管理運営事業 (共通)	7,481千円	7,082千円	
	・文化財保護事業 (事務事業評価シート/P.81)	1,782千円	4,861千円	
	・埋蔵文化財事業	5,071千円	2,219千円	
	・文化芸術振興事業(共通) (事務事業評価シート/P.83)	1,182千円	1,161千円	
	・帆引き船市文化財指定調査事業	1,361千円	—	
	・帆引き船保存活用対策事業 (事務事業評価シート/P.85)	—	14,786千円	
	【27年度上記事業から名称変更】 ・郷土資料館管理運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.87)	8,921千円	11,547千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・富士見塚古墳公園管理運営事業 公園と展示館の維持管理のため、シルバー人材センターへの委託と土地借上げ料の支払いを行った。2月には、天狗巣病に侵されているサクラの伐採を行った。</p> <p>・文化財保護事業</p>				

国指定文化財椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、成井ばやし保存会等民俗芸能伝承事業、指定文化財等公開管理事業、文化財説明板修繕・新規製作事業、文化財保護審議会事業等を行った。有形文化財 2 件、無形民俗文化財 1 件、史跡 1 件を市指定文化財として指定した。また、懸案事項であった「県指定文化財 木村家住宅の修繕」について、各種調整を行い、次年度実施の目途をたてることができた。

・埋蔵文化財事業

埋蔵文化財照会申請に伴い現地調査、試掘調査、回答書の作成をし、年間の埋蔵文化財事業を調査報告書としてまとめた。また、松山瓦窯跡の文化財保存エリアとして、2,541 m²の土地を購入した。

・帆引き船市文化財指定調査事業

霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動支援を行った。霞ヶ浦帆引き船操船技術及び帆引き網漁法が市指定無形民俗文化財に指定された。また、長年の懸案事項であった「市指定文化財 帆引き船の保存展示施設の建設」に向けて各種調整を行い、次年度実施の目途をたてることができた。

・郷土資料館管理運営事業

特別展 1 回（3 部構成）、特別展に合わせた各種催しの開催や図書（マンガ、解説書）の制作・発行、企画展 1 回、ふるさと教育に係る各種講座の開講（17 講座 66 回）、歴史資料の収集・保存・整理、団体解説及び出前授業、各種問い合わせ対応、運営委員会・民俗資料調査員会議 2 回、受付業務、館内外の施設維持管理業務等を行った。

【課題・今後の対応】

・富士見塚古墳公園管理運営事業

富士見塚古墳公園展示館の展示リニューアルと同公園での講座やイベントの開催で来館者の増加を目指す。

・文化財保護事業

市民の文化財への関心を高めるため、指定文化財の一斉公開を実施する。また、木村家住宅の修繕が円滑に進むよう事業者（所有者）を支援する。

・埋蔵文化財事業

埋蔵文化財の出土品の保管場所が不足していることから、平成 28 年 3 月いっばいで廃校となる小学校の1校を確保できるよう関係部署と調整を進める。

・帆引き船保存活用対策事業（帆引き船市文化財指定調査事業から名称変更）

帆引き船保存展示施設の建設。霞ヶ浦帆引き船操船技術及び帆引き網漁法を県指定無形民俗文化財の指定に向けて、関係市と連携し調査研究を行う。

・郷土資料館管理運営事業

多様化する市民ニーズに応えるため情報を収集し、市民学芸員の会と協力する体制を維持することで、郷土資料館の機能を高めていく。

【実施事業の内部評価】

- A. 大いに達成できた
- B. 達成できた
- C. だいたい達成できた
- D. あまり達成できなかった

【その他】

【点検・評価委員の意見】

- ・郷土を愛する市民の育成に向けて、これらの取り組みを市民に周知するなど来場者数や講座の参加者数を拡大する方策について検討する必要がある。
- ・郷土の文化財を後世に保存伝承することは、市民の郷土愛向上に寄与するものであり、計画的に適正な保護管理が必要である。市民学芸員の養成を継続するとともに、さらに活動の場を広げて行くことが必要である。
- ・郷土資料館の出前講座は、ふるさと教育を身近に受けることができ、継続してほしい。
- ・指定文化財は地域の宝であるが、市民にとって意外と知られていない現状があり、今年度から実施する指定文化財一斉公開の意義は大きい。文化財を保護するためには多額の経費を要し、計画的な修理修繕が必要となる。財源に限りがある中で、必要な予算確保に知恵をしぼってほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 22	施策の方向	2. ふるさと教育の推進	担当課・係	
			生涯学習課 郷土資料館	
施策の内容	<p>①郷土資料館を中心に、それぞれの年齢層に応じた各種講座、体験教室、展示会などを効果的に開催し、ふるさと教育の充実を図ります。</p> <p>②市や団体が刊行した歴史書、文化に関する映像などを歴史ライブラリーとして整備設置し、市民や来訪者への貸し出し提供に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・郷土資料館管理運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.87)	8,921千円	11,547千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・郷土資料館管理運営事業</p> <p>かすみがうら市出身の幕末の志士で、天狗党の竹内百太郎と新選組の伊東甲子太郎を取り上げ、3部構成で特別展を開催した。また、市制10周年企画展として、竹内百太郎と伊東甲子太郎のマンガを出版し、合わせて企画展を開催した。</p> <p>教育普及活動として、17の講座や教室を開催し、小中学生には、ふるさと教育の一環として「私たちの郷土」の調査研究・作品発表などを行った。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・郷土資料館管理運営事業</p> <p>郷土資料館の根幹をなす資料の収集が、収蔵庫が満杯で思うようにできない。貴重な資料が散逸しないよう、早期に収蔵庫の確保に努める必要があるため、埋蔵文化財収蔵庫とあわせて、平成28年3月いっぱいまで廃校となる小学校の1校を確保できるよう関係部署と調整を進める。</p> <p>小学校統合に向けて、各学校で所蔵する歴史資料を整理し、保存活用する。</p> <p>数多くの魅力を保持する本市であるが、それらを順次情報発信していくため、計画を立て、市民学芸員の会と協力しながら市民協働の事業として展開していく。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				

【点検・評価委員の意見】

- 郷土を愛する市民の育成に向けて、これらの取り組みを市民に周知するなど来場者数や講座の参加者数を拡大する方策について検討する必要がある。
- かすみがうら市出身の幕末の志士を取り上げ市制 10 周年企画展としてマンガの形で出版し配布されたことは、だれでもわかり易く理解でき、ふるさと理解の 1 つとして効果は大きい。
- 統合における小中学校での所蔵の郷土資料が散逸しないよう整理保存が必要である。
- ふるさと教育を実施していく上で市民学芸員の役割は大きい。また、企画展や特別展等を通して全国に本市の魅力を発信し続ける郷土資料館の役割は、今後益々高まっていくと考えられる。郷土資料館が市民協働の事業展開を行うことにより郷土の歴史、民俗等の拠点としての機能を一層充実してほしい。

様式1 (自己点検評価書類)

No. 23	施策の方向	3. 芸術・文化活動の推進		担当課・係
				生涯学習課 文化振興係
施策の内容	<p>①多様な芸術・文化に親しめる環境や、市民が主体的に活動や発表ができる機会の充実を図ります。</p> <p>②文化活動やサークル活動の支援と活性化を図るため、文化協会及び加盟団体への支援を継続的に実施します。</p> <p>③市民が優れた芸術文化に触れる機会が得られるよう、情報の収集と提供に努めます。</p>			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・文化芸術振興事業（共通） （事務事業評価シート/P.83）	1,182千円	1,161千円	
<p>【平成26年度取組内容】</p> <p>・文化芸術振興事業 文化協会の各種事業の支援及び文化財保存対策補助金の交付を行う。</p>				
<p>【課題・今後の対応】</p> <p>・文化芸術振興事業 文化団体や会員数の減少が目立っているため、その対策として平成27年度から文化協会の事業支援を社会教育係が文化財保存対策を文化振興係が担当することとした。</p>				
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>				
<p>【その他】</p>				
<p>【点検・評価委員の意見】</p> <p>・かすみがうら市を文化都市と位置づける構想の実現を掲げて、文化芸術振興事業に取り組んでいることは心強い。文化協会の事業支援を社会教育係に、文化財保存対策を文化振興係にそれぞれ担当を移行するなど、より効果的な組織体制にまで踏み込んだ取り組みは評価できる。</p>				

様式1 (自己点検評価書類)

No. 24	施策の方向	4. 観光との連携		担当課・係
				生涯学習課 文化振興係 郷土資料館
施策の内容	①文化財と文化的景観を観光資源として有効活用に努めます。 ②観光客にも対応できる文化財体験プログラムの整備と市民学芸員や観光ボランティアなどの人材育成及びその活用に取り組みます。			
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額	
	・富士見塚古墳公園管理運営事業(共通) ・郷土資料館管理運営事業(共通) (事務事業評価シート/P.87)	7,481千円	7,082千円	11,547千円
【平成26年度取組内容】 ・富士見塚古墳公園管理運営事業 古墳公園を気持ちよく見学できるよう、草刈りや樹木の適正管理、天狗巢病に侵されてサクラの伐採を行った。また、観光ツアー客や見学者に対して、市民学芸員による古墳の説明などの観光ガイドを行った。 ・郷土資料館管理運営事業 市民学芸員養成講座やジオサイトの学習会などにより、市民学芸員や観光ボランティアなどの人材育成に取り組んだ。				
【課題・今後の対応】 ・富士見塚古墳公園管理運営事業 観光との連携を密にし、観光客のニーズに対応した事業展開を目指す。 ・郷土資料館管理運営事業 市民学芸員の会員の活動を広めるため、会の活動周知や教養講座への参加促進、県内各種ボランティア団体との交流を推進する。				
【実施事業の内部評価】 <input type="checkbox"/> A. 大いに達成できた <input checked="" type="checkbox"/> B. 達成できた <input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた <input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった				
【その他】				

【点検・評価委員の意見】

- ・郷土を愛する市民の育成に向けて、これらの取り組みを市民に周知するなど来場者数や講座の参加者数を拡大する方策について検討する必要がある。
- ・観光商工課と連携し、文化財や文化的景観をPRすることは市内の文化財の理解を深める良い機会である。市民学芸員による観光ガイドは市民学芸員の活躍の場として大いに取り組んでほしい。
- ・富士見塚古墳公園は、ロケーションが良く、家族連れでの憩いの場としても利用が期待できる。桜の名所としての計画等を進めることで、魅力度アップを図りリピーターが増えるよう努めてほしい。

5 地域福祉の推進

様式1 (自己点検評価書類)

No. 25	施策の方向	2. 地域福祉施設の充実	担当課・係
			生涯学習課 あじさい館管理係
施策の内容	①利用者が快適で安全な利用ができる施設管理に努めるとともに地域住民の交流の場として提供します。		
事業名 及び事業費	事業名	26年度決算額	27年度予算額
	あじさい館管理事業（共通） （事務事業評価シート/P.89）	96,677千円	70,252千円
<p>【平成26年度取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> あじさい館管理事業 公民館、図書館、福祉館を訪れた方が施設を安全安心かつ快適に利活用できるよう適正管理、施設運営に努めた。その一環として、屋上防水改修工事やロータリー屋根付き通路天井改修工事、消防設備修繕など、様々な修繕を行った。また、福祉館運営協議会を開催し、様々な視点からの施設の適正管理・運営についての指摘を受けた。 			
<p>【課題・今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> あじさい館管理事業 施設の経年劣化により修繕を要する箇所が次々と発生する中、予算縮小により修繕費予算確保が厳しい状況にあるが、施設の修繕等については、安全で快適な施設利用に向け、緊急性や必要性、利用者ニーズを踏まえ、計画性を持って予算確保に努める。また、利用者数増加のための施策も検討していく。 			
<p>【実施事業の内部評価】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A. 大いに達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> B. 達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> C. だいたい達成できた</p> <p><input type="checkbox"/> D. あまり達成できなかった</p>			
<p>【その他】</p> <p>【点検・評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> あじさい館設置の目的を再確認し、軽重を付けて整備していく必要があると思われる。 地域福祉施設としてのあじさい館は、市民にとって安全安心に利用できるよう、計画的に修繕等の予算を確保し適正に管理運営をしてほしい。 あじさい館は経年劣化が進み、修繕費の確保が厳しい状況にあるが、市民の利便性や満足度の向上のため施設の適正管理に努めてほしい。 			

第4章 学識経験者の意見

1. 教育の充実（施策に対する意見）

- ・来春から霞ヶ浦地区2校の統合小学校が開校する。統合による保護者の不安を解消し、「統合してよかった。」と地域住民が喜び、適正規模化による教育効果を如何なく発揮し所期の目的を達成できるよう、すべての教育関係者が「統合がゴールではなくスタートである」という認識を持ち取り組んでほしい。
- ・千代田地区小学校統合については、適正規模化の観点から推進する必要がある。有識者の意見を参考にしながら、引き続き十分検討し、方向性を出してほしい。

2. 生涯学習の充実（施策に対する意見）

- ・施策の見直し精査を行い、費用対効果に配慮し創意工夫をして改善に努めている。市民のための生涯学習の推進に取り組んでいることは高く評価できる。更なる住みよい地域づくりに向けて、市民本位の生涯学習の推進に努めてほしい。
- ・スポーツ団体の運営については、ボランティアによるところが大きいことは理解しているが、総合型地域スポーツクラブが自主財源で運営していることに鑑み、補助金の在り方について検討する時期にある。
- ・統合後廃校となる小学校体育館が生涯スポーツの拠点施設として果たしてきた役割は大きい。それを引き続き利用可能か、あるいは補完する施設があるかどうか、十分検討する必要がある。耐震性に問題がなければ管理体制を含めて課題は多いが、利用する方向で検討してほしい。

3. 地域文化の継承と創造（施策に対する意見）

- ・市民の誰もが望む心豊かで文化の薫り高い郷土づくりに向けて、なお一層文化芸術施策の充実に努めてほしい。
- ・観光商工課と連携し、文化財や文化的景観をPRすることは市内の文化財の理解を深める良い機会である。市民学芸員による観光ガイドは市民学芸員の活躍の場として大いに取り組んでほしい。

4. 点検及び評価結果書類

- ・「自己点検評価書類」の評価基準の見直しを行い、3段階から4段階の評価基準に改善して分かりやすくなった。「事務事業評価シート」も「評価の部」が加わり、「目的妥当性評価」「有効性評価」「効率性評価」「公平性評価」の4部門での評価が行われることで評価の客観性が高まった。